

皆さん新年あけましておめでとうございます。

旭川歯科医師会を代表しまして年頭に当たり一言ご挨拶申し上げます。

本日は、2016年旭川歯科医師会の新年交礼会を開催するにあたりご案内申し上げますところ、衆議院議員 今津 寛様、衆議院議員 佐々木隆博様、上川総合振興副局長 福井宏行様、旭川市長 西川将人様、旭川市保健所次長 松田様、医師会会長 山下先生、薬剤師会会長 藤澤先生始め多くの来賓の方々、そして札幌からわざわざ北海道歯科医師会会長の藤田先生にもお越しいただきました。さらに、会員の先生方も大勢参加いただきましたこと厚くお礼申し上げます。

又、後ほど平成27年度の受賞者の先生方が発表されますが、受賞された先生方誠におめでとございます。先生方の長年の功績が認められたわけで我々後に続く後輩としても非常に励みになります。

こうして2016年申年がスタートしたわけですが、今年はおリンピックイヤーでもあります。北海道に住む私たちにとり何といっても嬉しいニースとしては、3月29日に開通する北海道新幹線元年であります。東京がより身近に感じられ、北海道の活性化にも期待したいとおもいます。

さて社会全体が少子・超高齢社会に突入し、国の医療施策が病院型から在宅型へと急速にシフトしていく中で、医科・歯科の医療連携など重要な局面を迎えています。歯科界におきましても、国民の皆様のQOLの向上に間違いなく歯科医療が直結するとの認識を再確認し、具体的な行動をする年であると我々も考えまして、来る6月1日に旭川歯科医師会は旭川市の協力も得まして道北口腔保健センター内に「旭川地域歯科医療連携室」を開設することになりました。まさに我々にとり新しい幕開けの新时代元年であります。

この事業は、歯科医師会の威信をかけて行う事業であると同時に、多くの会員の先生方や医師会、薬剤師会始め様々な医療職種の方々に協力を願わなければ成功しません。是非ともご理解ご協力をお願いしたいと思います。

野球でバッターの急所はインコース高め、ピッチャーにとりそこに投げるのは非常に勇気が要ります。もし手元が狂ってバッターに当ててしまったりどうしよう、いかに正確に内角高めに投げれるか、ピッチャーにとりその生命線なんです。しかし我々は、そのインコース高めに一球入魂、あえて全力で投げ込む。と、まさにその覚悟でこの事業に臨みます。

薬剤師会の全面的な協力を得て始まった市内すべての小学校でのフッ素洗口事業も、大きな問題もなく高い実施率で順調に推移しております。もう数年するとしかりとした統計的な数字が発表される予定です。

歯科衛生士養成校であります旭川歯科学院も少子化の影響を受けまして生徒募集に非常に苦慮しておりますが、執行部 一丸となつてこの難局を乗り切ろうと思っております。

歯科衛生士と言う仕事は、今後益々社会の中で要求されるわけですから、養成校としての使命を果たさなければなりません。

今年一年が皆様にとり実りある充実した良き年になるよう祈念申し上げます。挨拶とい

平成二十八年一月十五日

一般社団法人旭川歯科医師会

会長 三戸 知史